

ハクサンハバチ

ハチ目ハバチ科

Neocolochelyna hakusana Togashi

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー なし

選定理由

本県が国内分布上の北限となる。幼虫の食草のサルナシが、登山道の整備により減少しているため、個体数の減少が懸念される。

形態

体長15mm内外で、ハバチ科としては大型種である。体は赤褐色をしており、腹部には黒色斑がある。類似種としてイトウハバチがいるが、産卵管鞘の鋸状の歯形が本種と異なる。

国内分布

石川県、福井県大野市。

県内分布

白山の別当出合付近で採集されている。

生態

幼虫はサルナシの葉を食べる。若齢期は集団で葉を食するが、老齢期になると単独で活動する。

生息地の条件

食草であるサルナシの生育していることが重要である。

生存の危機

サルナシの減少による個体数減少が懸念される。

特記事項

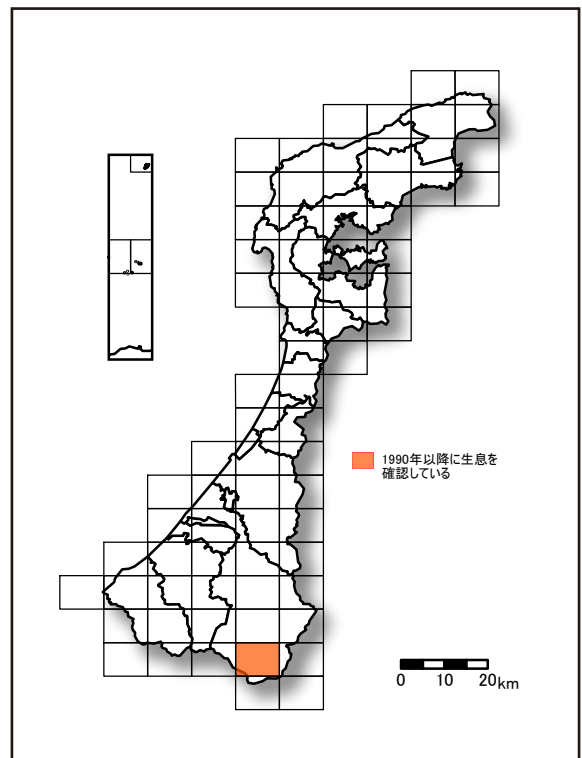
白山の特別保護地区内に生息する。

参考文献

Togashi, I. 1995. Description of *Neocolochelyna hakusana* sp. nov., and its larva (Hymenoptera: Tenthredinidae) from Japan. Proc. Ent. Soc. Wash., 97:866-871.



写真提供者: 石川卓弥



県内の分布